

[14]

諦めた君の心中は、不思議と穏やかだった。全てをやりきった者の諦観。君は物言わぬヒナの頬を撫でながら、地球へと目を向けた。

ちょうど、君の眼下で南太平洋が青く輝いていた。ヒナのいた小島も、きつとこの青の中にあるのだろう。

そういえば——と君はふと思い出す。確か、自分の祖先は、ヒナと同じく南太平洋にルーツがあると聞いていた。それは偶然だろうか、それとも必然だろうか？

だが、君にそれを確かめる術はもう無い。

君に出来る事は、戦闘機という棺桶の中で、静かに死を待つだけだ。

〈エンディング4〉

[15] ↓ [22] へ。

[16] ↓ [44] へ。

[17] ↓ [45] へ。

[18] ↓ [35] へ。

[19]

君の真正面から、槍の切っ先を思わせるような白い光が迫る。どうやらここはウォータンの攻撃圏内のようなのだ。

ところで、ヒナの残り魔力は？ 0なら「13」へ、1以上なら「27」へ進め。

[20]

槍の切っ先を思わせるような光が、君のすぐ横をすり抜けていく。どうやら、敵の砲撃を回避することに成功したようだ。だが、まだこれからだ。油断はならない。

君は眦を決すると、弥勒に向かって操縦桿を傾けた。「23」へ進め。

[21]

三重の防衛装置をぐぐり抜けた戦闘機は、コアへ続く細い通路へと潜り込んだ。戦闘機がなんとか通り抜けられるほどの細い通路を進み、君たちはついに弥勒の最深部へとたどり着く。

「あれがこの船の動力源……コアです」

ヒナが指さした先には中性的な男性の像があった。コアという言葉から想像もつかない、古ぼけた木の像だ。これが何故動力源となり得るのか君にはさっぱり理解出来ないが、ヒナ曰く、『像にため込まれた信仰のエネルギーがこの船を動かしている』らしい。

「これを破壊すれば、弥勒はもう何もできません！」

興奮気味に叫ぶヒナに促され、君はコアに向かってトリガーを引いた。「41」へ。

[22]

どうやらここに位置取ったのは間違いだったらしい。君たちを挟撃するように、鳥の羽根のような飛来物が左右に迫る。さて、ヒナの残り魔力は？

0ならば「13」へ、1以上なら「2」へ進め。

[35]

君は見事な操縦によって稲妻の回避に成功した。あとはコアを狙うだけだ。[21]へ進め。

[36]

「暗い未来を折り曲げて、真の未来はすぐそこに――」

歌声とともに展開したヒナの魔術障壁によって、君たちはかろうじて稲妻の直撃を免れた。

だが、ヒナの消耗は激しかったようだ。眉間に皺を寄せ、肩で息をしている。もしかすると次の一撃は耐えられないかもしれない……。ヒナの魔力を1減らし、[12]へ戻れ。

[37] ↓ [20] へ。

[39] ↓ [44] へ。

[38] ↓ [45] へ。

[40] ↓ [22] へ。

[41]

君の一撃で、コアは木っ端微塵に破壊された。

これで地球は救われる。安堵の息を吐く君の耳に、どこからか不気味な声が響いた。

(……我らを忘れ、また我々を破壊するか。我らが不要だというならば、我らとともに滅べ、信仰無き者たちよ……!)

声の主は、コアの残骸だ。君の前に漂うアルカイックスマイルの巨大な頭部。その口元がにやりと歪んで、君たちを嘲笑う。